

練馬区観光案内所の在り方検討会議 第 4 回

資料 2

観光案内所の展開イメージ

令和 6 年 12 月 25 日

練馬区産業経済部商工観光課

NERIMA

<ねりま観光案内所の課題>

●見え方に関する課題 ●機能的な課題

⑪写真撮影パネルは無造作な設置で、撮影したくなるような環境とは言い難い。

⑩壁面の掲示物は内容が様々で量も多いためメッセージ性が弱い。

⑨大型の練馬マップが用意されているが、来所者の目につきにくい。

⑥「ねりコレ」商品は狭いスペースに詰め込み気味で、商品ひとつひとつの魅力が十分に発信できていない。

⑤カウンターはレジ機能が目立ち、案内カウンターとしての見え方が弱い。

⑫バックヤードは執務スペースが大半を占め、在庫管理スペースが不足している。

④様々な仕様の仕器が混在し雑多でまとまりのない見え感になっている。

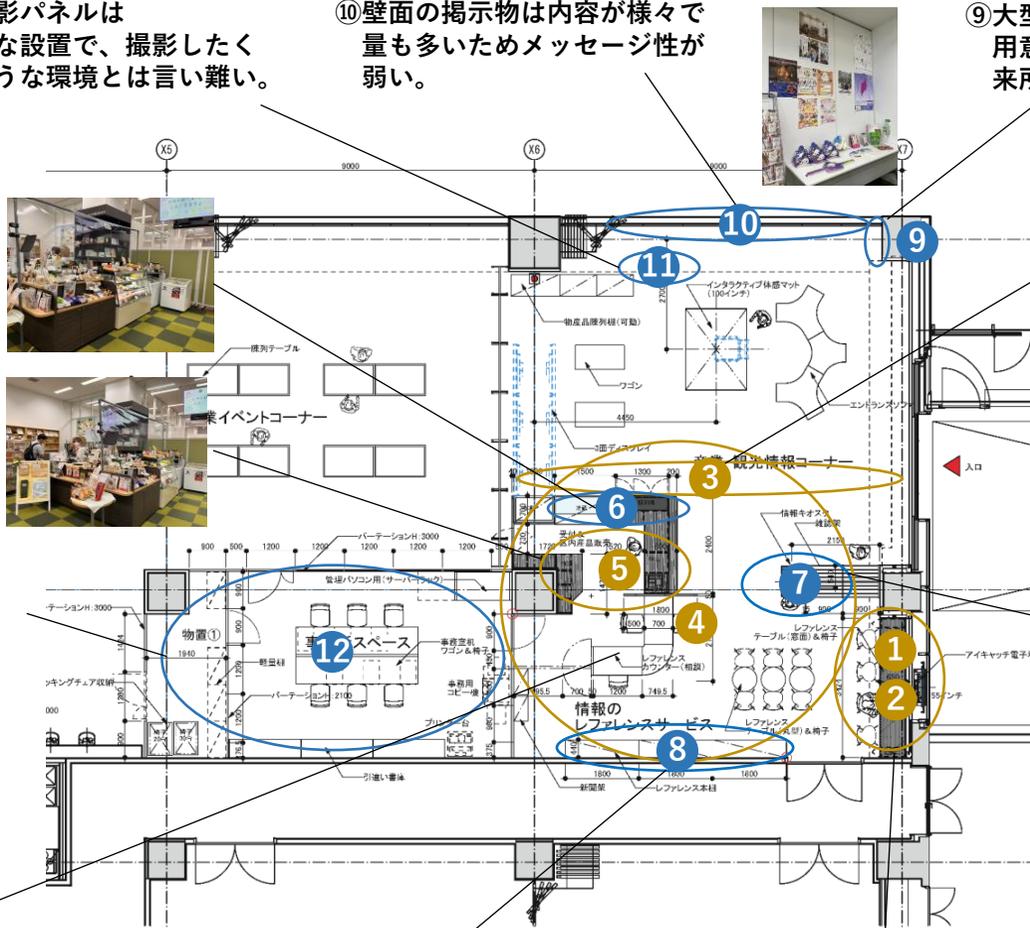
⑧ライブラリーが十分に機能していない

①エスカレーター前に位置するものの、内部の見通しがなく、案内所の存在がわかりにくい。

②ファサードガラス面の装飾はやや唐突感がある。
(農作物のイラストシール)

③イベントコーナー前の通路とのエリア分けが曖昧なため、空間が間延びして見える。

⑦パンフレットコーナーはコーナーとしての存在感がない



NERIMA

< 課題に対する改善策案 >

赤字は委員からの提案

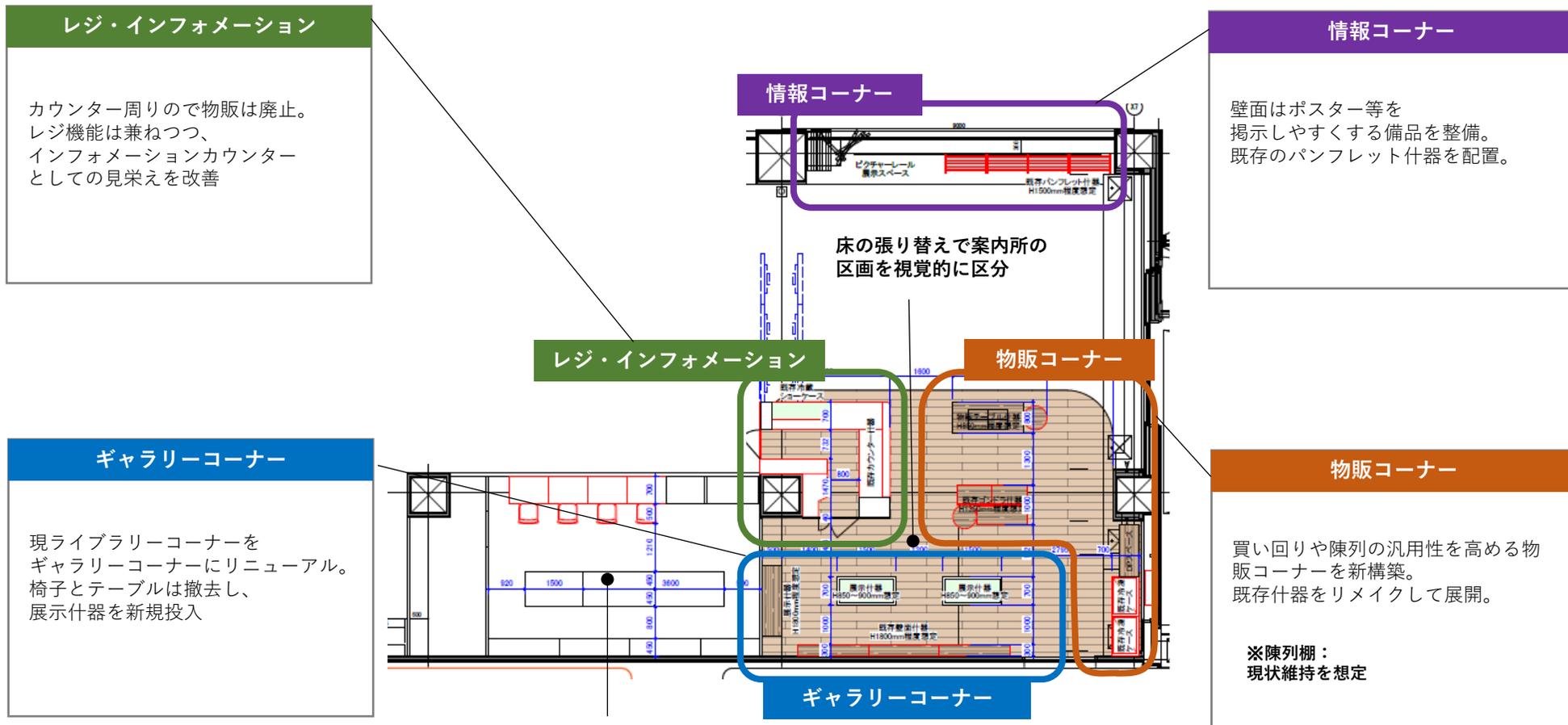
○改善
△暫定的改善
-対処法検討

		課題	改善策案	既存什器活用案	積極的改装案
見え方に関する課題	①	エスカレーター前に位置するものの内部の見通しがなく、案内所の存在がわかりにくい。	<ul style="list-style-type: none"> 内部の見通しの確保（産業プラザのサインージ移動） わかりやすい観光案内所のサインの設置 	○	○
	②	ファサードガラス面の装飾はやや唐突感がある。（農作物のイラストシール）	<ul style="list-style-type: none"> 「練馬らしさ」のデザイン方針の再考 施設内外、統一したデザイン計画 	○	○
	③	イベントコーナー前の通路とのエリア分けが曖昧なため、空間が間延びして見える。	<ul style="list-style-type: none"> 床素材の貼り分けによって、観光案内所エリアを明確に区分 	○	○
	④	様々な仕様の什器が混在し、雑多でまとまりのない見え感になっている。	<ul style="list-style-type: none"> 什器の見え方の統一化 	△	○
	⑤	カウンターはレジ機能が目立ち、案内カウンターとしての見え方が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> インフォメーションとレジ機能の分離 インフォメーションマークの設置 	△	○
機能に関する課題	⑥	「ねりコレ」商品の陳列は狭いスペースに詰め込み気味で、商品ひとつひとつの魅力が十分に発信できていない。	<ul style="list-style-type: none"> 商品の内容とボリュームにあった什器計画 	△	○
	⑦	パンフレットコーナーは何となく置かれている感じで、コーナーとしての存在感がない。	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットコーナーとしての設えの見直し 	△	○
	⑧	ライブラリーが十分に機能していない。	<ul style="list-style-type: none"> ギャラリー空間の新設 	△	○
	⑧	大型の練馬マップが用意されているが、来所者の目につきにくい。	<ul style="list-style-type: none"> マップの配置場所の再考 	○	○
	⑨	壁面の掲示物は内容が様々で量が多いためメッセージ性が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> 掲示物のフレームづくり ルール化・マニュアル化 	○	○
	⑩	写真撮影パネルが用意されているが無造作な設置で、撮影したくなるような環境とは言い難い。	<ul style="list-style-type: none"> フォトスポットとして魅力ある環境の構築（機能として残すかどうかは要検討） 	-	-
⑪	バックヤードは執務スペースが大半をしめ在庫管理スペースが不足している。	<ul style="list-style-type: none"> バックヤードに必要な機能の整理 商品管理の効率化を促す什器の用意 	○	○	

NERIMA

既存什器活用案

案内所の前面に物販コーナーとレジ・インフォメーションを配置。
現ライブラリーコーナーをギャラリーとして活用する案。

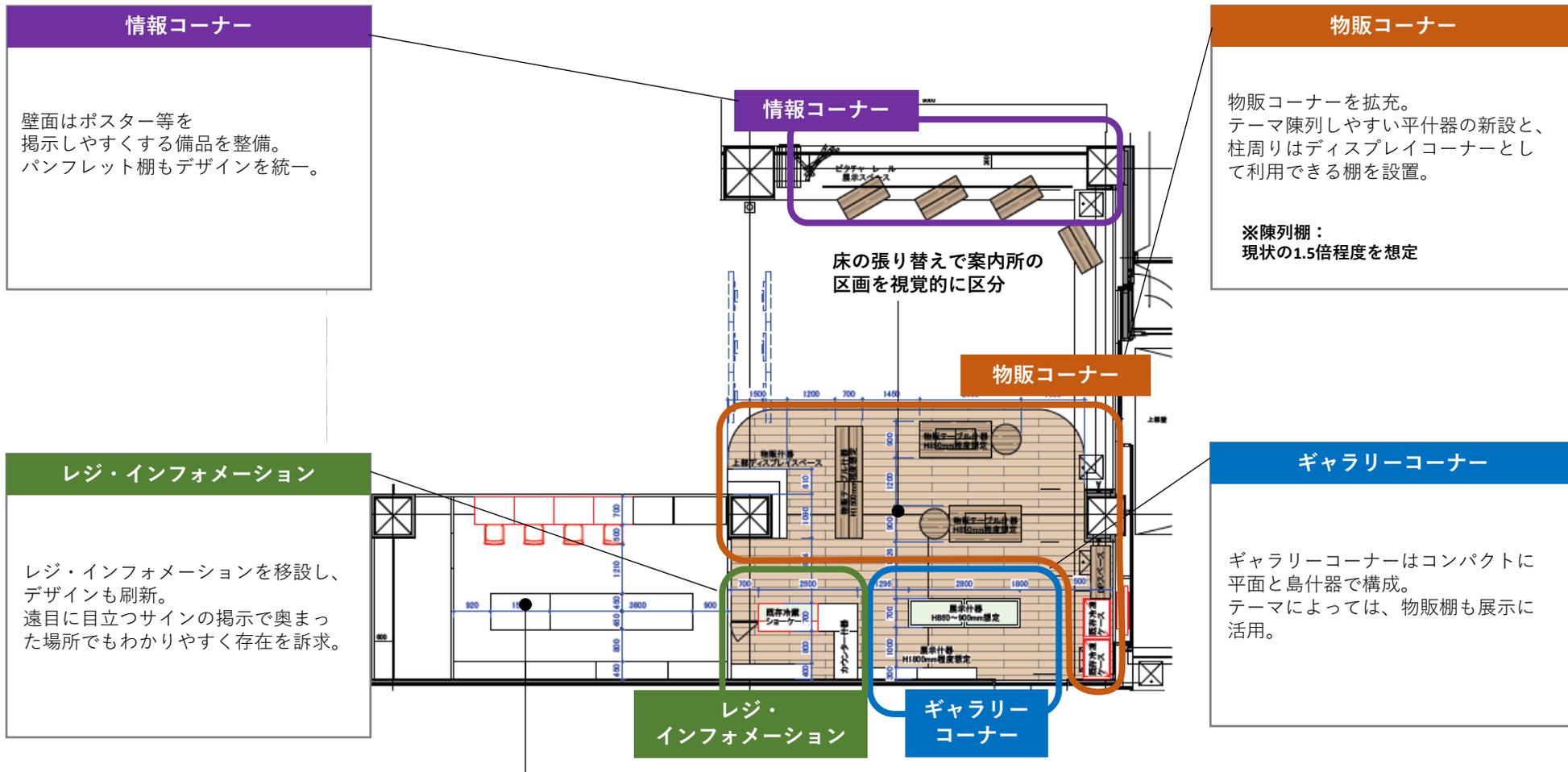


バックヤードは在庫置場を整備し、
在庫管理や品出しの業務効率化を図る。

NERIMA

積極的改装案

レジ・インフォメーションの配置を変更し
フレキシブルに利用できる物販コーナーを拡大



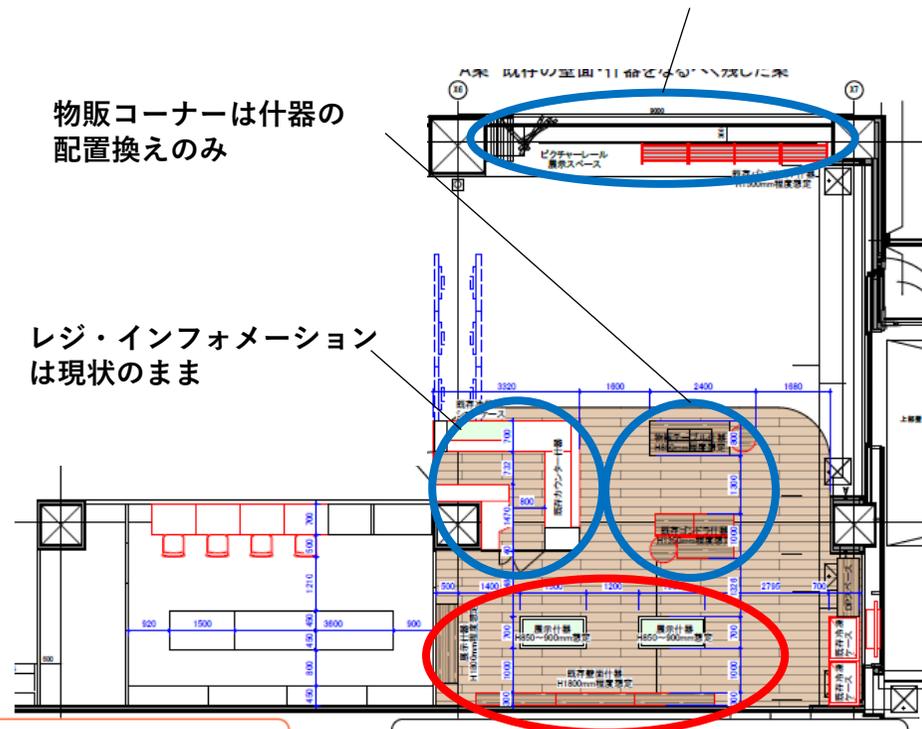
バックヤードは在庫置場を整備し、
在庫管理や品出しの業務効率化を図る。

既存什器活用案

壁面は情報発信に活用しやすいよう備品を整える。
既存パンフレット棚もこちらに配置。

物販コーナーは什器の
配置換えのみ

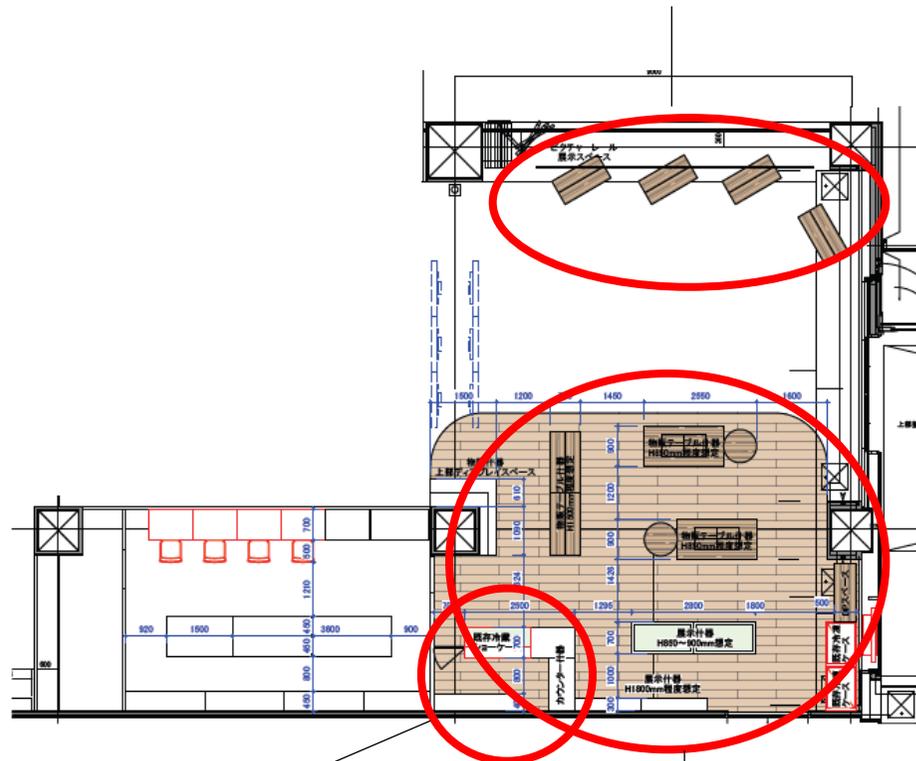
レジ・インフォメーション
は現状のまま



現ライブラリーコーナーをギャラリーとして利用できるように改装

積極的改装案

パンフレット什器も統一デザインに刷新



レジ・インフォメーション
の配置を変更。什器も刷新

物販・ギャラリーを一体的空間
で展開。移動しやすい什器、デ
ザインを統一。

SHAKUJII

<石神井観光案内所の課題>

⑥情報コーナーの壁面は、様々な情報が並列に貼られており、メッセージ性が弱くなっている。



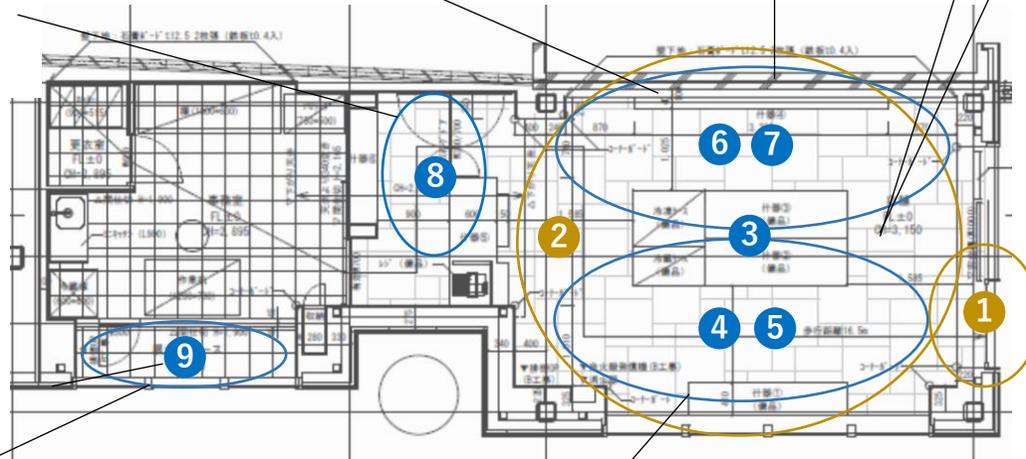
⑦情報コーナーは滞留スペースが狭い割に、パンフレット棚、閲覧書籍、タブレット等、情報提供物が多い。



②こまごまとした什器やサイネージ、イーゼル等の情報ツールが所せましと並び、窮屈な印象を与える店内である。

③物販エリアと資料エリアに2分されているが、来所数の割合に適した構成ではなく、空間が効率的に利用できない。

⑧ストック置場の不足が原因となり、カウンター周りに本来バックヤードの納めるべき書類等があふれてしまっている。



①観光案内所のサインはあるものの、店頭からは物販店にしか見えない。

⑨ショーウィンドウは演出のための装置が整っていないため、訴求力が弱い。



④物販エリアは商品の陳列スペースに余裕がなく、商品ひとつひとつの魅力が十分に発信できていない。



⑤生産者さん手作りのPOPなど「思い」を伝える仕掛けはあるが、煩雑に見える要素にもなっている。



SHAKUJII

< 課題に対する改善策案 > 赤字は委員からの提案

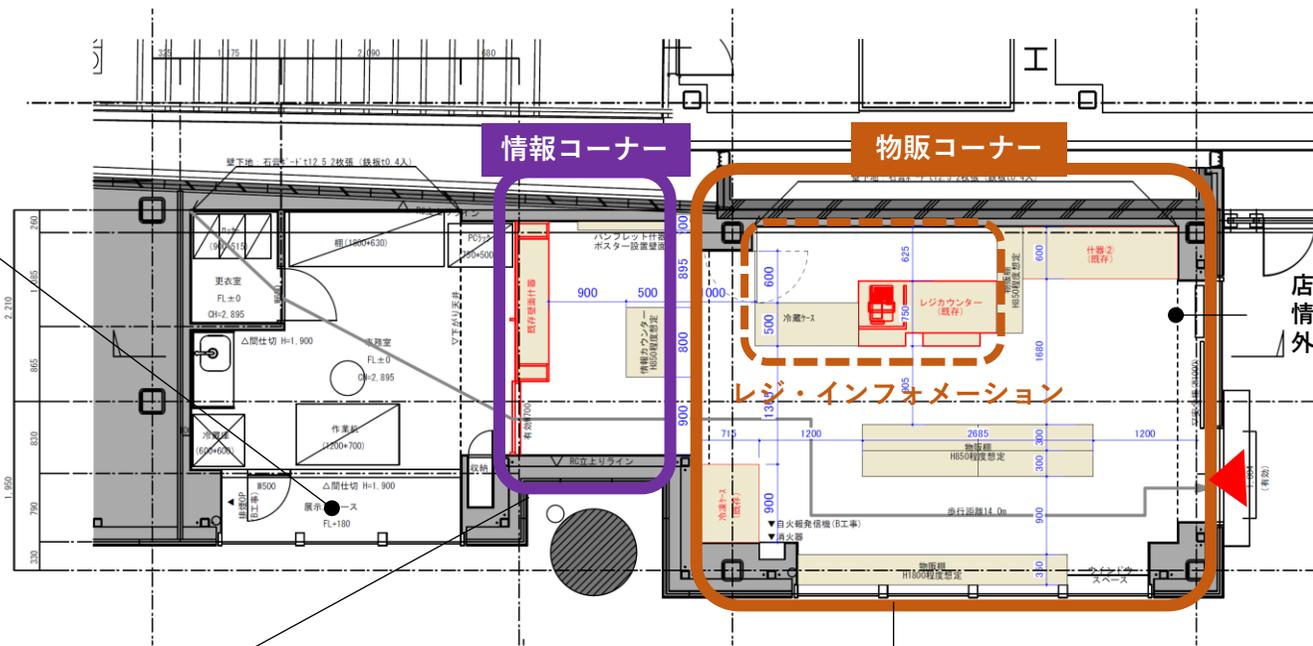
○改善対処項目
△暫定的対処項目
×対処外項目

		課題	改善策案	既存什器 活用案	積極的 改装案
見え方に関する課題	①	観光案内所のサインはあるものの、店頭からは物販コーナーしか見えない。	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭への案内機能の顔出しを強化 ・店頭の観光案内マークのわかりやすい配置 ・案内カウンターのわかりやすい配置 	○	○
	②	こまごまとした什器やサインージ、イーゼル等の情報ツールが所せましと並び、煩雑な印象を与える店内である。	<ul style="list-style-type: none"> ・什器、備品の整理 	○	○
機能に関する課題	③	物販エリアと資料エリアに2分されているが、来所数の割合に適した構成ではなく、空間が効率的に利用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・物販エリアと資料エリアの割合の見直し ⇒買物客の買い回り性と情報入手客の滞留性を向上 	○	○
	④	物販エリアは商品の陳列スペースに余裕がなく、商品ひとつひとつの魅力が十分に発信できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・陳列スペースの拡充 ⇒ガラス面や壁面に高さのある什器を新設 	○	○
	⑤	生産者さん手作りのPOPなど「思い」を伝える仕掛けはあるが、煩雑に見える要素にもなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・POP展開のルール化、マニュアル化 	○	○
	⑥	情報コーナーの壁面は、様々な情報が並列に貼られており、メッセージ性が弱くなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物のフレームづくり ・ルール化・マニュアル化 	○	○
	⑦	情報コーナーには滞留スペースが狭い割に、パンフレット棚、閲覧書籍、タブレット等、情報提供物が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供物の絞り込み 	○	○
	⑧	ストック置場の不足が原因となり、カウンター周りに本来バックヤードの納めるべき書類等があふれてしまっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・バックヤード内部の効率化、店内ストックの拡充 	○	○
	⑨	ショーウィンドウは演出装置が整っていない。またディスプレイのテーマもあいまいなため、訴求力が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ・照明の新設、ディスプレイ什器の再考 ・ディスプレイのマニュアル化 	△	○

既存什器活用案

レジ・インフォメーションカウンターを移転し、
物販の買い回り性と情報コーナー利用者の滞留性を高めるレイアウト

バックヤード裏の
ディスプレイスペースは
演出環境を整備



店内の見通しを確保し
情報コーナーの存在を
外部にも訴求

情報コーナー

既存の壁面棚を
パンフレット棚にリメイク

物販コーナー

レジ・インフォメーションカウンターを移転。
陳列什器は既存のものを生かしながら、
壁面、窓面は棚数を増やし、陳列ボリュームをアップ。

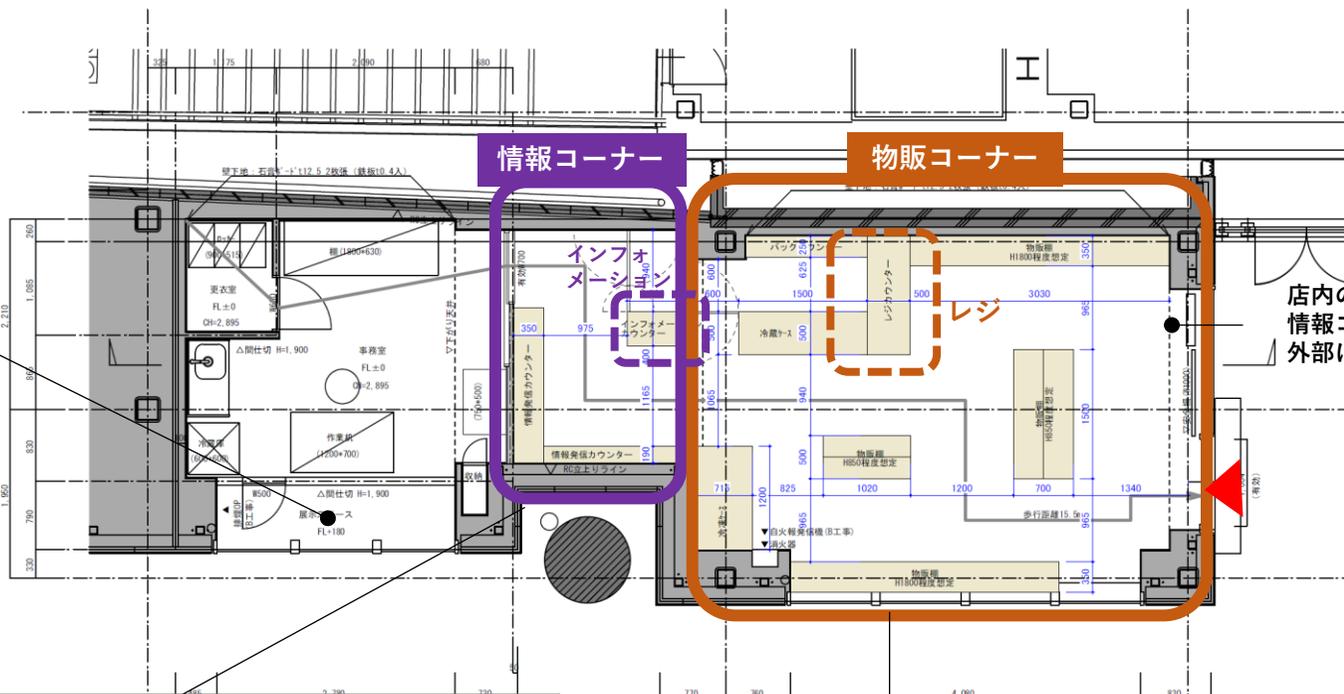
※陳列棚：
現状維持～1.2倍程度を想定

SHAKUJII

積極的改装案

物販コーナーの什器新設による回遊性の向上と
レジとインフォメーション機能を分離し、案内所としての機能訴求を強化するレイアウト

バックヤード裏の
ディスプレイスペースは
演出環境を整備



店内の見通しを確保し
情報コーナーの存在を
外部にも訴求

情報コーナー

パンフレット棚の設置と、独立したミニインフォメーション
カウンターを設置。
バックヤードとの導線を改良し、スタッフスペースを効率化。

物販コーナー

物販什器はデザインを統一して展開。
陳列ボリュームの増加と回遊性の向上を図る。

※陳列棚：
現状の1.5倍程度を想定

SHAKUJII

現状からの主な改善点

小刷新 **大刷新**

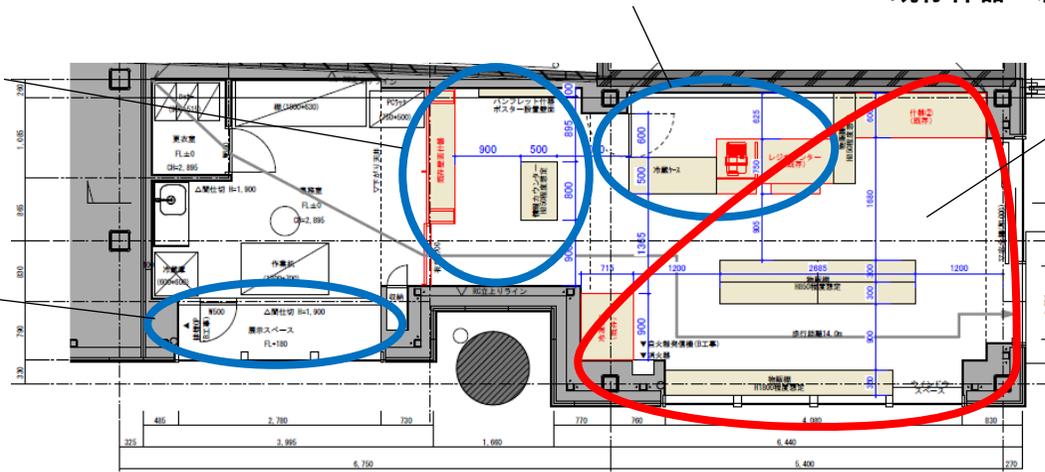
既存什器活用品

レジ・インフォメーションの配置を
変更⇒什器は既存

物販コーナーは
陳列ボリュームを増やすため、
既存什器+新規什器（壁面）を追加

情報コーナーの配置を変更。
既存の棚をリメイクして利用

ディスプレイコーナーは
演出環境を整備



積極的改装案

インフォメーションとレジカウンター
を分離⇒新規什器

物販コーナーは新規什器で
デザインを統一。
回遊性と陳列ボリュームを
改善

情報コーナーの配置を変更。
新規什器でデザインを統一

ディスプレイコーナーは
演出環境を整備

